デイサービス リーフ・オアシス
平成29年度第1回 運営推進会議 議事録

事業者名	フォースリーフ株式会社 立川市錦町2－12－21							
開催日時	平成29年10月19日(木) 13時00分 ～ 14時00分							
場所	デイサービス リーフ・オアシス内 ホール							
出席者	事業管理者	1名		市職員(介護保険課)	1名			
	利用者	1名		包括職員	名			
	利用者家族			知見を有する者	1名			
	民生委員	1名		介護相談員	名			
利用者数	合計34名 平均介護度1.503							
要支援1	3名	要支援2	4名	内みなし	0名	内総合事業	7名	支援計	7名
要介護1	15名	要介護2	6名	要介護3	5名	要介護4	1名	要介護5	0名

平均要介護度＝
{(要支援1認定者数)×0.375＋(要支援2認定者数＋要介護1認定者数)×1＋要介護2認定者数×2＋要介護3認定者数×3
＋要介護4認定者数×4＋要介護5認定者数×5}÷総要介護(要支援)認定者数認定者数)×1

議題
1. 参加者の自己紹介
2. 前回議事録の確認
3. リーフ・オアシスのご紹介
①事業所紹介 ②ご利用状況、要介護度別利用人数
③キャリア段位認定のご報告 ④リーフ・ボタンの紹介
4. 参加者からの助言、要望、質問など

会議録

本日の議題の確認

1. 参加者の自己紹介

2. 前回議事録の確認、読み合わせ

3. リーフ・オアシスのご紹介
参加者の市の担当者、利用者が前回と変更になった為、初参加の方もおり、再度デイの特徴を説明。
会社としてのビジョン、ミッション、コアバリューを説明し、会社としての理念を共有。
地域包括ケアシステムの基本理念を基に、リーフ・オアシスの立ち位置を説明。
介護保険事業を基本に、「介護する側、される側」の心地よさを追求していく事業を展開していく計画。
資料配布:議事録、事業所説明資料、要介護度別利用人数、曜日別利用状況、キャリア段位資格取得状況の

2017年3月時と比較して利用者数に変化はないが、要支援から要介護への移行がある。
立川市の総合事業がスタートしているが、看護師常駐で医療行為を提供をしてい」るオアシスは
市の求める総合事業の受け皿より重度者対応に重きを置いている。
現在、総合事業利用者が7名おり、すべて自費の延長利用サービスを契約している。
総合事業は来年に向けて内容変更の話し合いが持たれているが、その結果と方向性次第では
今後の対応として介護予防の分野にもサービスを提供していく計画はある。
スタッフの技術力向上を目的に「キャリア段位制度」を導入し、「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」の
両面を評価する仕組みを確立し、今年5月までに介護スタッフ全員(4名)の認定者を排出した。
保険外事業として安否確認、服薬確認を目的とした「リーフ・ボタン」の紹介

3. 参加者からの助言、要望、質問など
地域に開放したデイサービスのありかたに関する意見交換
－＞小規模でスタッフ数も限られており、地域イベントへの積極的参加が難しい
防災訓練への参加や高校生の職場見学など、できる事からスタートすれば良いのでは？

4. 活動状況報告に対する評価
保険外事業や、キャリア段位への取り組みなど多様な取り組みを行っており、是非地域でも活かして欲しい。

5. その他、特記事項
リーフ・ボタンを今後どう展開していくか、民生委員以外にもニーズがあるのではないか？ の意見あり。

議事録作成: 勢村隆幸